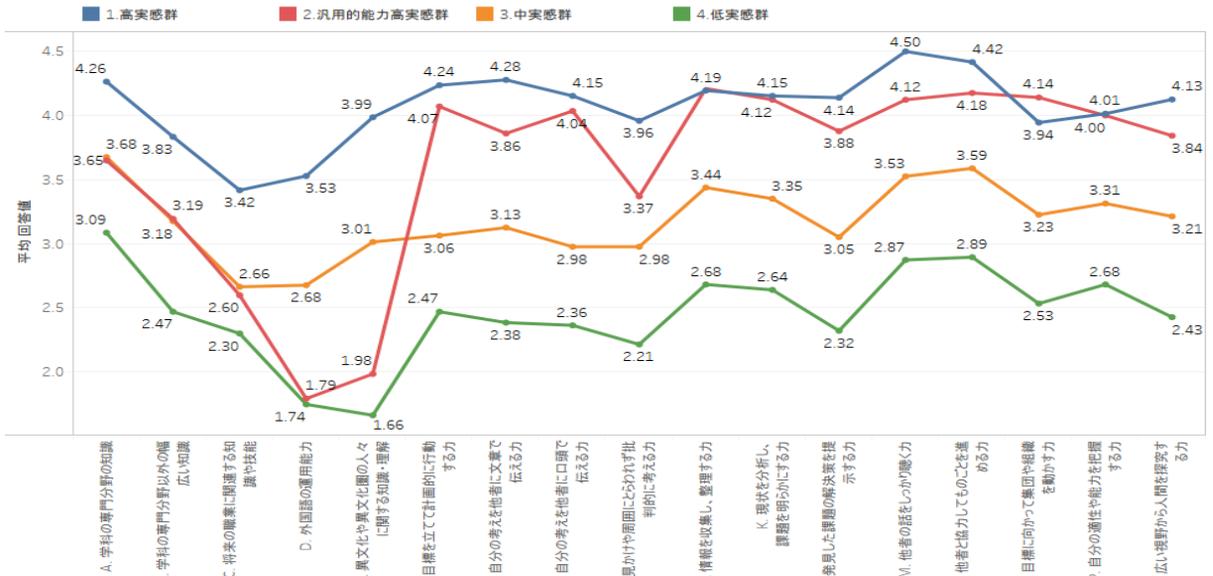


# 卒業生調査から見る大学での学修実感と 入学から卒業後のキャリアまでの関連 【分析結果概要】

学習院大学では、本学での学びと卒業後のキャリアや生活との関係を知るため、学部卒業後5年を経過した方へのアンケート調査を実施しています。令和元年度は、平成25年度卒業の方にご回答いただきました。分析では、卒業時の学修実感によって卒業生のタイプを類型化し、各類型が大学でどのような学び方をし、卒業後はどのようなキャリアに進んでいるかを検討しました。

## Q5. 大学卒業時点の学修実感による類型化 (報告書2-2)



### 高実感群

全ての項目で高い学修実感である

### 汎用的能力高実感群

汎用的な能力全般の学修実感は高いが専門分野の知識や外国語の能力は実感が高くない

### 中実感群

全ての項目で中程度の学修実感である

### 低実感群

全ての項目で低い学修実感である

## Q1. 入学時の影響 (報告書2-3)

学びたい学部・学科があることに特に強く影響を受けて入学

特に際立って影響を受けた要素はなく平均的

特に際立って影響を受けた要素はなく平均的

教授・講師陣や教養が身につくことへの期待薄く入学

## Q3. 大学時代の授業や各種活動に対する意欲 (報告書2-4)

自学科・他学科の専門科目、外国語科目、基礎教養科目の他、外部の資格や検定、個人的な学習や読書に特に意欲的だった

全体的には高実感群と同程度に意欲的だったが、しかし外国語科目については意欲が低かった

高実感群と比べて自学科・他学科の専門科目と外国語科目では意欲が低かった

高実感群が意欲的だった科目や学習の全てで意欲が低かった

(差のなかった学習・活動：情報科目、スポーツ健康科学科目、資格課程、各種課外活動)

高実感群

汎用的能力  
高実感群

中実感群

低実感群

Q4. **大学時代の学び方** (報告書2-5)

授業の受け方の工夫や  
教員へ質問をするなど  
**積極的な学び方を  
していた**

課題や試験勉強には  
計画的だったが  
**積極的な学習に向けて  
もう一步踏み込む余力  
を残していた可能性**

高実感群に比べて  
**しっかりと学んだ自信  
を持っていない**

高実感群に比べて  
**しっかりと学んだ自信  
を持っていない**

Q6. **大学時代の環境や学生生活の満足度** (報告書2-6)

学習面や教員・友人との  
人間関係、大学生活  
全般の**満足度が高い**

友人との人間関係や  
大学生活全般の満足度  
は高いが、学習面の  
**満足度は中程度**

大学生活全般の満足度  
は高いが、学習面や  
友人との人間関係の  
**満足度が低め**

学習面、友人との  
人間関係、大学全般の  
**満足度の全てが低い**

Q8. **卒業直後の状況** (報告書2-7)

就職や進学割合、卒業直後の仕事の内容には学修実感の違いによる**大きな差は見られなかった**

Q8-2・Q9-2. **卒業5年後時点の仕事内容** (報告書2-8)

学修実感の違いによる仕事内容の**大きな違いはみられなかった**  
転職を経験した場合、転職後の仕事は学修実感の高低に関わらず  
仕事に関する専門的な知識や資格、技術や技能がより必要となり、  
情報機器を活用する場面が多くなっていた

Q9-3. **卒業5年後の仕事への満足度** (報告書2-9)

仕事の内容と仕事を  
通じて成長できること  
に**特に満足している**

平均的な満足度

平均的な満足度

仕事の内容と仕事を  
通じて成長できること  
に**特に満足していない**

Q10・Q11. **卒業後5年間の知識や能力の変化** (報告書2-10)

全体的に、職業に関する知識、情報を収集し整理する力、他者の話をしっかりと聞く力に**向上実感**

専門分野以外の幅広い  
知識と異文化への知識  
や理解も**向上した**

全体的な傾向と同様

全体的な傾向と同様

情報を収集し整理する  
力が向上したと  
**感じる割合が  
他の群に比べて低い**

まとめ

- ・大学における学修実感が低いと、卒業5年後現在で振り返って、本学への満足度も低く、卒業後も成長を実感しにくい傾向にある。
- ・高い学修実感を得られずに卒業した学生は、入学時に大学に対して具体化された期待を持っておらず、在学中の自らの学び方や学習意欲の自己評価が低い。
- ・本学でどんなことがどのように学べるのかをより深く知るような広報や入学前プログラムの充実、初年次に専門分野への興味を広げられるようなカリキュラムや授業の工夫をする、といった支援によって学修実感や満足度の向上が期待できる。